

Tokyo Kasei Press

学校法人渡辺学園 広報誌 なでしこ

VOL.
93
2022.7

04 令和時代の小学校教諭養成

14 グローバル教育センター

16 附属女子中学校高等学校

08 02

連載「SDGsのゆくえ」vol.2 女性の未来と希望
児童学部が2023年4月スタート



K 東京家政大学
TOKYO KASEI UNIVERSITY

2023年4月 児童学部 誕生

新時代の「子どもの教育とケア」を学ぶ

60年の「児童学」教育実績をもとに開設

児童学科

児童学専攻

ほとんどの学生は、卒業後、幼稚園や保育施設に就職しています。毎年多くの学生が公立保育所の保育士採用試験に合格して就職しており、公立幼稚園にも年間10人前後合格しています。また、保育に関する研究を深めるために、東京家政大学大学院や他大学院へ進学する道もあります。

児童学科

育児支援専攻

毎年多くの学生が公立保育所の保育士採用試験に合格して就職しており、公立幼稚園にも年間10人前後合格しています。卒業生は、幼稚園や保育・福祉施設等資格を活かした就職先、また、ベビー用品などを扱う企業等、育児に関わる幅広い分野で活躍しています。保育に関する研究を深めるために、東京家政大学大学院や他大学院へ進学する道もあります。

初等教育学科

P4-6で詳しく

小学校教諭の養成に重点を置き、確かな授業力と学級経営力を身につけることのできる体系的なカリキュラムを用意。小学校教諭としての専門性を高めるとともに、特別支援教育やいじめ、不登校などの今日的な教育課題に対応できる、子ども理解に優れた教員の育成を目指します。小学校教諭だけでなく、幼稚園教諭の免許も取得できます。



児童学部長(就任予定)

岩崎 美智子

保育・教育はクリエイティブな仕事です

1968年発刊の学科機関誌には、「児童というものについて正しい観念をもち、児童をしっかりとつかんで、子どもの将来の幸福を確保することが児童学科の使命である」と書かれています。この「児童学科」を「児童学部」と読みかえれば、まさにこれからの児童学部が目指していることになるでしょう。教員免許や保育士資格をとることも大事ですが、子どもや保育・教育について考え、学ぶことが児童学部の主要な目的なのです。

保育や教育の仕事は、一人ひとりの子どもをとらえて保育や教育を構想し、実践するおもしろさがありますし、クリエイティブな職業です。児童学部は、保育園・幼稚園や小学校の先生になりたい、子どもに関わる何かをやってみたい、という人には、最適な学びの場です。子ども・保育・教育の専門家である多彩なスタッフと、学生の可能性を引き出すカリキュラム、のびのび学べる緑豊かなキャンパスと、なにより同じ目標をもった仲間がいます。在学中も卒業後も、頑張るあなたを応援していきたい。私たちはそんな児童学部でありたいと願っています。

時代のニーズに応える 保育・教育のスペシャリストを養成します。

「保・幼・小」の連携を意識して学ぶ

複雑化する現代社会においては、乳幼児から児童に至るまで、子どもの発達過程を連続的にとらえることがこれまで以上に重要となります。

長きに渡る子どもの発達過程をしっかりと見通しながら、児童学科においては就学前の乳幼児期を中心に理解を深め、初等教育学科においては小学校入学後の成長を中心に学び、それぞれの専門分野を深めていきます。

これからの時代で必要とされる確かな力を身につける

児童学部では、現代の子どもたちが直面している問題をとらえ、子どもたちが希望を持って未来社会を生き抜くことができるよう、子どもをサポートできるカリキュラムを用意しています。

子どもや保育・教育について深く考える講義や、主体的で体験的な学びの機会となる現場実習、新たな保育・教育を構想する力を育む専門的な演習が充実しています。

好奇心や探求心を刺激し、理論に基づく確かな知識と、保育・教育実践、支援方法を学びながら、これからの時代に必要な力を確実に身につけます。

次世代の保育・教育に 必要とされる力

- ①深い子ども理解にもとづく保育・教育構想力
- ②子どもの実態に合わせた実践的指導力
- ③子どもの幸せをめざして課題解決する支援力

児童学科児童学専攻

乳幼児保育のスペシャリストとして
幼稚園教諭・保育士を目指す

学びの特色

児童学の基礎を5分野から総合的に学ぶことで、子どもの育ちを支える高度な知識と確かな実践力を兼ね備えた、即戦力のある人材を養成する。

取得できる・目指せる資格

幼稚園教諭一種免許状、保育士資格、
社会福祉主事任用資格、図書館司書

児童学科育児支援専攻

子育て支援のクリエイターとして
幼稚園教諭・保育士を目指す

学びの特色

家庭や地域など幅広い分野で、親子の幸せを支える子育て支援の高度な専門知識と保育実践力を兼ね備えた、即戦力のある人材を養成する。

取得できる・目指せる資格

幼稚園教諭一種免許状、保育士資格、
社会福祉主事任用資格、
認定ベビーシッター資格

初等教育学科

小学校教育のプロフェッショナル
を目指す

学びの特色

小学校教諭の養成に重点を置き、高い授業力と学級経営力を身につける。また、特別支援教育やいじめ、不登校などの今日的な教育課題に対応できる、子ども理解に優れた教育の育成を目指す。

取得できる・目指せる資格

小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭
一種免許状、キャンパスインストラク
ター、学校図書館司書教諭❖

❖卒業の翌年に交付されます。

*他学科の科目を履修することで、中学校教諭二種免許状（英語）を取得することが可能です。（ただし、時間割の関係から幼稚園教諭一種免許状は取得できなくなります）。

2023年 児童学部初等教育学科 誕生 令和時代の小学校教諭養成

家政学部児童教育学科は2023年4月に児童学部初等教育学科に生まれ変わります。
現・家政学部児童教育学科長の半澤嘉博教授へ小学校教諭養成等について聞きました。

小学校教育をめぐる 3つの変化

来年度誕生する児童学部初等教育学科（現・家政学部児童教育学科）では、小学校教諭一種免許状を原則全員が取得することを旨とするカリキュラムとなっており、プログラミング教育の必修化や小学校高学年における教科担任制など、小学校教育が途切れなく変化している今、令和の小学校における教育現場では何が起きているのでしょうか。

変化1 小学生の手にはタブレット

この数年の小学校教育のダイナミックな転換について半澤学科長が開口一番に言及したのは、タブレットの普及です。「今の小学生の手にはみんなタブレットがありますからね。タブレットを使った授業が当たり前になった、これが一番大きな変化だと思います。3年前には想像すらしなかったことです」

文部科学省がすべての児童生徒に学習用端末とネットワーク環境を整える「GIGAスクール構想」を打ち出したのは2019年12月。今や2021年3月時点でおおむね児童生徒一人につき一台の学習用端末が整備されています。

そして、この2年あまりのコロナ禍で小学校教育のオンライン化が余儀なくされ、はからずも急速にタブレット使用が普及する結果となりました。「わたしたちの世代はもろろん、小学校教諭を目指す今の大学生ですら小学校の時にはタブレットを使う授業を経験していませんからね。自分が経験したことのない授業に取り掛かり、しかもきちんと成り立つように授業をしなければならぬ。簡単なことではありませんが、そういった授業を円滑にできるように初等教育学科の学びも進化させていきます」

また、2020年度からは新学習指導要領で小学校でのプログラミングが必修化されました。現・児童教育学科でも「教育におけるICT活用」「子どもの思考とプログラミング」といった専門教育科目が開講されています。半澤学科長によれば「文部科学省の学習指導要領がこう変わるだろっつことを予測して、現在の児童教育学科ではこれまで科目目編成

やカリキュラムを先んじて一歩ずつ前進させてきました。初等教育学科に生まれ変わった後も、こういった前進的な姿勢は継承していきたいですね」

変化2 英語教育の低学年化

次に2つ目の変化として英語教育が挙げられます。半澤学科長は次のようにその低学年化を説明してくれました。「今の大学生は、小学校5・6年生のときに英語の授業を受けてはいます。しかし、教科としての英語ではなく、外国語で楽しみながら会話したり、「コミュニケーション」したりする外国語活動だったんですね。今は教科としての英語を5・6年生で、外国語活動を3・4年生で行います。このように、英語教育の低学年化がどんどん進んでいます」

英語教育をきちんと実践できる教員を養成するには、単に語学として英語を学ぶだけではなく、小学校で実際に教科として扱う英語を学生へインプットすることが必要になります。「初等教育学科では、英語教育の低学年化という社会の流れに則した授業内容について、今後検討を重ねていく予定です。本学のグローバル教育センターとも連携して、初等教育学科の専門教育と語学教育の両面から最適なアプローチ方法を模索していきます」

変化3 障がい、不登校、外国籍などへの個別対応

そして3つ目の変化は、多様性の尊重。ダイバーシティ&インクルージョンとも称され、お互いの個性を認め合い活かしていくことを意味します。小学校には、障がいや不登校、

外国籍など、いろいろな背景や事情のある児童が多数在籍しています。一般的に小学校では教諭1人に対して35〜40名程度の児童を対象に授業をしますが、一斉授業を行いながら同時に個別対応の必要がある児童にも接することになります。現・児童教育学科では教育現場でこれらにしっかりと対応できるように、これらに関連する授業を文部科学省が定める最低基準以上に開講しています。

ただ座学の通りにはいかないのが教育現場の難しさで「保護者を含めた個別対応の仕方を大学の授業で取り上げていきますけども、実際の学校現場ではもっと生々しいことが起きるんですよね。つまり、個別の対応が必要な児童にかかりつきりになってしまえば、他の子どもから『すごい』『わたしたちにも構って』となります。そうなってしまうと、学級が混乱しちゃう。ですから、SDGsで言われている誰一人取り残されないための個別対応と、学級経営を円滑にできるという集団対応の両輪をあわせ持った教員を養成していくことが今後はより一層求められてきます」

教育のプロフェッショナルとって

このように、さまざまな社会状況を反映して、課せられる任務が次々に山積している小学校教諭だが、教育のプロフェッショナルとして必要となる資質や能力はどのようなものなのでしょう。

新任もベテランも、先生

働く場という視点から小学校を見ると他の職場とは大きく環境が異なります。企業であれば先輩が実際の仕事を通じて業務を教えてくださいますが、大半の時間を過ごす教室は先生と子どもだけ。「職員室では他の先生とやりとりできますが、教室では自分一人で仕切らなければならないですからね。しかも、新任でもベテランでも子どもたちにとってはみんな先



生」なんです。子どもにも保護者にも言い訳は通用しませんから、そこはシビアな世界ですね。また、長年の教員経験から言えることは、授業の上手下手というのは年数を経れば大抵の技術は身につきますが、子ども一人ひとりを理解し、その一人ひとりが満足できる学級運営こそが小学校教諭の力量として問われ続けるところです。小学校教諭を目指すときに夢見るこんな先生になりたいという憧れとはかけ離れた難題も次から次へと起こりますから、受容力や柔軟性という資質が求められると思いますね」

教育公務員である自覚

小学校教諭の多くは公立小学校勤務であることから、たいていは教育公務員という社会的立場に置かれることとなります。「先生として子どもの前でどういう振る舞いをするのかは言いつまでもありませんが、学校以外の時間も教育公務員として24時間それを意識して行動しなければなりません」と半澤学科長は語ります。それは「いつまで難くいつかはなく」(半澤学科長) けれども、子どもたちの模範となる以上、私生活でも社会で守るべきルールをより厳密に遵守する必要があると言えるでしょう。

他方、「例えば休暇で旅行に出かけたら、自分が撮った写真を社会の授業で使えるなどか考えたりしてね」というように、学校での授業も自分の生活も考え方次第でより充実させることができるというポジティブな考え方も教えてくれました。

採用試験の集団討論でみる力

現・児童教育学科の教員採用率は全国でもトップレベルの80・0%(2022年度)で、教員採用試験のバックアップ体制が充実している証でもあります。教員採用試験ではどのような能力がみられるのでしょうか。「教員採

用試験は集団討論が多く取り入れられています。評価の観点は、リーダー性と協調性の主に二つです。自分だけが理解して自分だけの意見を主張するのではなく、周りの意見を聞くことができる能力。来年誕生する初等教育学科でも、集団の中でこれらの力が発揮できるように、グループ討議での思考力育成にも力を入れていきたいと考えています」

また、このリーダー性と協調性は、令和を生きるこれからの小学校教諭が特に身につけるべき力であり、半澤学科長によれば「Aーがますます普及すれば人間の能力が必要な仕事は限られていきます。同時にSDGsという持続可能な共生社会を目指していくわけですから、そういった社会で必要になるのは、自分が持っているものと、他の人が持っているものとうまく融合させて、仕事でも人間関係でも、結論なり解決方法をうまく導き出せる力です。初等教育学科ではそういった力の育成も視野に取り組みを強化していければと思います」

子どもからもらうつ元気

こうして小学校教諭の話聞いてみると想像以上に「小学校の先生って大変・・・」といった印象を抱いてしまいがちですが、14年間小学校教諭を勤め、東京都教育委員会での勤務経験も持つ半澤学科長に小学校教諭という職業の魅力を聞いてみると「子どもはとにかく面白い!」と強調します。「自分の教えたことが子どもたちの成長になるし、子どもから学べることで、たくさんあるんですよ。言葉を選ばずに言ってしまうと、子どもが好きで、子どもと関わって給料をもらえる。そして、子どもの背景にいる保護者や近隣地域と繋がり、いろいろな人たちと出会えることで自分の世界も広がります」

はたまた、どんなに子どもが好きでも、どんなに教育に情熱を持っていても、仕事であ

る以上は苦しく大変な局面もありますが、「先生に教えてもらって、これができるようになったよ。ありがと」なんて子どもに言われるとその1つだけで、10のうち9の嫌なこと全部が吹っ飛びちゃう。「教師冥利に尽きる」って言葉があるけれど、まさにこれが元気の源ですよ」

そして、職業としての安定性も言い添えられました。「公立小学校勤務の場合」時代が変化しても公務員は安定して長く勤められる職業です。僕が個人的に見てきたことで言うと、大学の友人なんかは民間企業に就職して羽振りがいい時代もあり一方で、世の中の浮き沈みの影響もやはり受けやすいですからね。人気の職業は他にいろいろとあるでしょうけど、免許をもっていなければできない仕事というのは、価値ある職と言えるのではないのでしょうか」

本学卒業生の評判は組織の中で、頼りになる存在

実際に小学校教諭になった本学卒業生の評判を聞いてみると「評判はいいです」と即答の半澤学科長。「対応が丁寧で、教員としての力量をきちんと備えていると聞きます。性格的にも優しいし、社会人として仕事を任せられる信頼される卒業生が多いと言えます。わたしは他大学でも教えることがあるのですが、どの大学と比較しても東京家政大学の学生は素直で真面目!授業ではしっかりノートを取るし、提出物はきちんと出すし、授業で教員が困ることはほとんどないですよ。これは、教育公務員の組織の中で頼りになる存在として認めてもらえる人間としての信頼感につながるでしょう」

半澤学科長は小学校教諭の他、教育委員会にも従事するなど教育現場での経験が豊富です。本学を卒業し働き始めた卒業生の悩み相談を受けることも多いと言い、長年に渡って

自ら培った経験からアドバイスをしています。「本学の卒業生は真面目なタイプが多く、その裏を返せば、何か問題が生じると、たいしたことじゃなくても必要以上に自分の責任を重く受け止めてしまう。だから、気持ちをもちと楽に持って、少し失敗しても自分に能力がないなんて思わないで、もうちょっと続けてみたらとアドバイスすることが多いですね」学生と教員との距離が近いことが本学の特長でもあります。卒業後のフォローアップでもそれが生き続けています。

最後に、小学校教諭をこれから目指す人へのメッセージをもらいました。「親戚の子でも近所の子でも、子どもと関わりを持って、子どもの成長や発達を喜ぶ感覚を味わってください。その喜びを感じることができれば、小学校教諭はすごく楽しい仕事ですよ!教師をやっているよかったなと思う瞬間のすべてが、一生の財産になりますから」

〈注釈〉

(1)「令和2年度における教育の情報化の実態等に関する調査結果(概要)」令和3年3月1日現在(「確定値」)文部科学省、p.9、2021年10月

半澤学科長に聞いた2択ならどっち?

- あんこ : **粒あん派(とらやだけは別)** こしあん派
- 酢豚のピナップル : **許せる** 許せない
- フライドポテト : **太い派** 細い派
- 行動速度 : **のんびり** キビキビ
- デートするなら : **遊園地** 水族館
- 欲しいセンス : **笑いのセンス** ファッションセンス
- お菓子 : **きのこの山** たけのこの里
- 怖いのは : **ジェットコースター** おばけ
- スパゲッティ : **カルボナーラ** ミートソース

児童学部初等教育学科で取得できる資格

卒業と同時に取得できる資格

- 小学校教諭一種免許状（全員取得が原則）
- 幼稚園教諭一種免許状
- キャンプインストラクター
- 学校図書館司書教諭 **◆**

◆卒業の翌年に交付されます

※他学科の科目を履修することで、中学校教諭二種免許状（英語）を取得することが可能です。（ただし、時間割の関係から幼稚園教諭一種免許状は取得できなくなります。）

卒業後に取得できる資格

- 特別支援学校教諭二種免許状 教員になってから在職3年+所定の単位修得（最低単位数6単位）

教員採用試験に向けたバックアップ体制も充実

初等教育学科では、学科として独自の教員採用試験に向けた支援を行います。また、全学的にも教員採用試験に向けた支援体制が充実していますので、安心して教員採用試験に臨むことができます。

初等教育学科の支援体制

各都県への推薦制度

東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、さいたま市、横浜市など多くの都県からの応募に基づき、学内選考を経て各都県へ大学から推薦する制度があります。各都県によって異なりますが、教員採用試験に対して一部の試験免除などの措置を受けることができます。

埼玉教員養成セミナー

埼玉教員養成セミナーは、埼玉県教育委員会と大学とが連携して行うもので、全プログラムを受講したセミナー受講生は、特別選考となります。埼玉県公立小学校教員を強く希望する大学3年生等が、大学卒業後、円滑に勤務できるよう、必要な資質、指導力を養成するために①学校体験実習②講演・講義・演習③体験活動の3つのプログラムを受講します。

東京教師養成塾

東京教師養成塾は、東京都教育委員会と大学が連携して行うもので、東京教師養成塾での約1年間の特別教育実習及び、教科等指導力養成講座を全て受講すると、東京都公立学校教員採用試験の一次試験が免除されます。東京都公立学校の教員を目指す学生に対して、1年間の学びを提供し、教員としての必要な資質・能力を培います。

教育委員会との連携

初等教育学科は東京都北区・板橋区の教育委員会と学習ボランティアの協定を結んでいます。多くの学生が、小学校でのボランティア活動をしています。小学校からは、明るくて積極的な学生が多いとの評価をいただいております。学生も楽しくてやりがいがあると張り切って活動しています。

全学的な支援体制

進路アドバイザー

教育委員会・校長経験者7名（内、専任2名）で、教員採用試験を受験する学生に、学習計画のアドバイスとともに、志願書等の作成や論文・面接の個別指導及び集団討論等の対策会等を実施し、合格に向けたサポートをしています。

資料閲覧室

各都道府県市の教員採用試験問題集や各種雑誌・新聞、あるいは面接・集団討論・実技等の詳細を記録した本学学生による受験報告書等、受験対策にすぐ役立つ資料に加えて、学習指導要領や教科書、教育実習研究授業の学習指導案等も常時閲覧可能です。

教員採用試験対策講座

(1) 教職ゼミ

教員採用試験に臨む学生を対象に「教職ゼミ」を開催しています。「面接の受け方」「論文の書き方」「一般教養・理数分野対策」などに加え「採用試験合格者の体験を聞く会」や「現職教員講演会」なども実施しています。また、関東地区の都県市の教育委員会を招き、学内で各地区の学校の特色や教員採用試験情報が聞ける体制も整えています。

(2) 東京アカデミー学内講座

「東京アカデミー」の講座が通常より安価な授業料で受けられます。例年4月から3年生を対象に主に木曜日の午後、計30回程の講座が開かれます。内容は、「教職教養」「専門教養」「一般教養」などで、受験生の必要に応じて講座内容を選択できます。また、模擬試験も3回学内で受けることができます。

学校教育ボランティア

各自治体・教育委員会では、教員を志望する大学生、短期大学生及び大学院生を対象に、小学校、中学校、特別支援学校（県立及び市立）での実践体験等をする機会を提供しています。

学長メッセージ

東京家政大学・東京家政大学短期大学部
学長 井上俊哉

こんな時代 だから家政学



「世界が大転換のときを迎え世界、日本で先行きの不透明さが増す中で、こんな時代だからこそ東京家政大学が創立以来、大事にしてきた建学の精神「自主自律」と「家政学」の重要性を改めて感じています。東京家政大学には「自主自律」「家政学」を原点として、世の中をさらによくして、皆が幸せになれるように変えていこうという心優しく相手を思いやる学生が多く学んでいます。未来の人生の基礎を作り、「すべての人が健康で生き甲斐を持って人生を全うする」にはどうしたらよいか、学生たち一人ひとりが提案し実践すれば、一人にできることは小さくても、その実現に近づくことができます。

東京家政大学の建学の精神は「自主自律」

明治14年、女子の就学率、就業率、社会的地位がきわめて低かった時代に、裁縫に関する知識・技術、読み・書き・算術などの基礎的な学力を養い、指導者の育成を意図した教育を実践した和洋裁縫伝習所は、校祖渡邊辰五郎先生の熱い思いで創設され、女性の自立への道を拓きました。

さらに、東京家政大学という名称は、第2次世界大戦後の1949年（昭和24年）に、本学が新制大学として発足した際に、発足当時の全教職員、学生の投票

によって決まったものです。

女性が専門的な知識・技術を身につけ職に就き社会で活躍することは本学の伝統となり、「自主自律」の建学の精神は創設時から現在に至るまで受け継がれています。それから141年、女性の大学進学率、就業率は格段に向上しましたが、政治的、経済的な女性の地位はまだまだ低いのが日本の実情です。現在、あるいは近未来における「女性の自主自律」の意味を改めて問い直し、自分の生き方と共に考えてみませんか。

家政学の定義・目的

発足当初は家政学部のみで始まった東京家政大学は、その後、人文学部、健康科学部、子ども学部を加え、2022年度からは栄養学部も新設しました。2023年度には「児童学部」が誕生する予定ですが、「家政学」の定義・目的は、東京家政大学のすべての学部、学科、大学全体の目的と重なり合うものであり、時代がどのように変わろうと、人類が存続する限り、重要であり続けます。「家政学」の目的は、次のとおりです。

家政学の目的

“人の暮らしや生き方に関連する
今日的課題を総合的に検討し、
すべての人が健康で生き甲斐を持って
人生を全うするための方策を、
生活者の視点に立って提案すること”

連載 SDGsのゆくえ

目標ができると、人はそこへ向かおうとする。
向かう場所がわかれば、わたしたちはそこを目指し歩み始める。
その意思と歩みが、未来の景色を明るく灯してくれる。

だからこそ、掲げた目標を現実の景色として目にするまで、
みんなで手をつなぎ、決して諦めることなく、
わたしたちはそのゆくえを追い続けなければならない。

東京家政大学は、
持続可能な世界を目指すSDGsのゆくえを追い求め、
一歩ずつ前に進んでいきます。



一列目左から、村木厚子津田塾大学客員教授・樋口恵子女性未来研究所名誉所長・井上俊哉学長
二列目左から、平野真理女性未来研究所兼任研究員・平野順子女性未来研究所副所長・藤田藍津子女性未来研究所兼任研究員

女性が歩んできたこれまでの時代とこれからの未来を切り拓く「女性の生き方」について人生の先輩からわたしたちへ、歴史のバトンが手渡されていることを感じる女性未来研究所主催のシンポジウムでした。

2022年6月26日(日)、ヒューマンライフ支援機構 女性未来研究所主催の「第8回 女性未来研究所オンラインシンポジウム」が、Zoomウェビナーによるオンライン配信で開催されました。「人生100年時代女性の未来と希望」をテーマに、村木厚子津田塾大学客員教授と樋口恵子本学女性未来研究所名誉所長の講演、またパネルディスカッションが行われました。

SDGsのゆくえ

SDGsのゆくえ

Vol.2



他者とはなく、
自分自身と比較して前に進む

基調講演は、厚生労働省事務次官を経て、現在、津田塾大学客員教授の村木厚子先生から、「女性の生き方」の多様化による女性活躍の推進について講演いただきました。ご自身の働き方と家事育児、そして職場とのかかわりを踏まえた内容は、時代の先端を歩く女性の生き方そのものでした。「男女雇用機会均等法(昭和60年)の設立趣旨を皮切りに、「育児・介護休業法(平成3年)」、「パートタイム労働法(平成5年)」、「次世代育成支援対策推進法(平成15年)」、「女性活躍推進法(平成27年)」、「少子高齢化社会を見据えた就労者担保のため社会全体で女性活躍を推進するための「働き方改革」にシフトし、平成の「痛みを伴う改革」から令和の「前向きな改革」へと変化し続け、多様化する「女性の生き方」に対応する政府

続いて樋口恵子女性未来研究所名誉所長より、自身が監修した「女性の150年を表」の紹介がありました。女性の社会進出

知識が未来を拓く勇氣と元気を支える

の動きについて説明がありました。SDGsの目標5に『ジェンダー平等を実現しよう』とあります。日本のジェンダーギャップ指数(2021年度)は156か国中120位とかなり遅れており、女性の年齢階級別就業率や管理職に占める女性割合は上昇傾向にありますが、他の国の実現スピードに日本のスピードが追いついていないことが順位の低さとして表れていると、村木先生からも話がありました。

「行動経営学」の視点から女性活躍の推進のためには、①無意識の差別を取り払う工夫や②自己評価の男女差について、女性は自己評価が厳しいとのアンケート結果が出ていることに対し、「他の人と比較するのではなく、自分自身と比較することで前に進むことができる」との女性の生き方へのアドバイスは、とても勇気づけられるものでした。



村木 厚子 津田塾大学客員教授

最後に、「人生100年時代 私たちの可能性を広げるには？」をテーマに、先の講演者、村木先生、樋口先生に加え、女性未来研究所兼任研究員の平野心理カウンセラー、藤田看護学科講師がパネラーとなり、パネルディスカッションが行われました。樋口先生の「自分たちは大きな歴史の流れの砂の一粒だが、歴史を作る側に回って発言して欲しい。歴史はわたしたちが作っていく」という言葉が非

歴史はわたしたちが作っていく

の始まりと本学の出発点である和洋裁縫伝習所の設立のスタートが重なっているとの、興味深くもうれしい話を聞くことができました。すべては歴史の中で、自分たちがこれから生きる条件を作ってきており、特に「女性の生き方の広がり、女性自身が声を上げてこまできていくことをこの年表から知ってほしい」との熱い思いが語られました。そして、自身の生き方のエピソードも含め、その知識が未来を拓く勇氣と元気を支えると、これから生きる女性に向けてエールをもらった講演でした。



樋口 恵子 女性未来研究所名誉所長



「人生100年時代私たちの可能性を広げるには？」パネルディスカッションの様子



平野 真理 女性未来研究所兼任研究員



藤田 藍津子 女性未来研究所兼任研究員

常に印象的でした。声を出していくことで、社会は変わるし、変えられる、そんなパトンを手渡され、責任を感じると同時に勇氣をもらい、さらに、これから自分たちが声をあげていくことで、先輩からのパトンを後輩につなげていきたいという意欲をわかせるシンポジウムでした。

SDGsの目標5『ジェンダー平等を実現しよう』は、他の誰かから与えられるものではなく、私たちが自身が学びつづけ、行動し、声を上げていくことが「女性の未来の可能性」を広げ、ひいてはジェンダー平等が実現されるのではないのでしょうか。

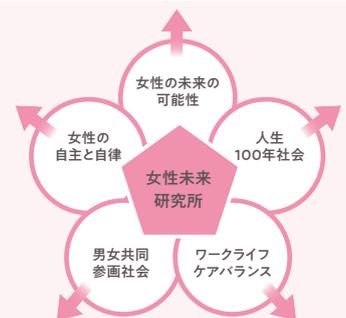
(編集者Y)

女性未来研究所とは

2014(平成26年)4月に板橋キャンパスに設置されました。建学の精神である「自主自律」、生活信条である「愛情・勤勉・聡明」と長年にわたる女子教育の伝統に基づく、本学固有の女性研究を行うとともに、その成果を社会に広く公表し還元することで、多様性を尊重する共生社会の実現と男女共同参画社会における女性の活躍を支援することを目的としています。

研究所が目指すもの

「女性の未来の可能性」、「人生100年社会」、「ワークライフケアバランス」、「男女共同参画社会」、「女性の自主と自律」の、特に5つの分野での研究を深め、未来の女性を、ひいては人間と環境の未来をより豊かにすることを目指します。



SDGsのゆくえ

環境教育学科3年次開講科目 「フィールドワーク」

Vol.2

前号から始まった「SDGsのゆくえ」。今回は、環境教育学科の開講科目「フィールドワーク」を取り上げます。環境教育学科では、夏休みの集中講義として、3年次に「フィールドワーク」を開講しています。この「フィールドワーク」

は、板橋区のエコポリスセンターにて、学生が板橋区民の小学校低学年の児童を対象に、エコ工作教室を通して3R (Reduce Reuse Recycle)、そしてその先にあるSDGsへの理解を深める取り組みをしています。「フィールドワーク」の授業を担当している、環境教育学科の井上宮雄准教授にお話を聞きました。

**他者に伝えるために、
自分が理解する**

Q 板橋区のエコポリスセンターと本学とのつながりを教えてください。

平成21年に、本学と板橋区とで「環境教育相互支援協定」を締結したことがきっかけです。環境教育学科の学生にとっては、

座学で環境に関する知識は学んでいますが、それを他者に教えるという実践の場がありませんでした。対して、板橋区は環境教育を担う人材の育成を目指しているということもあり、お互いの目的が一致したことから、同協定が締結されました。そこで、板橋区からは

エコポリスセンターの施設を提供してもらい、本学の学生がエコポリスセンターを利用して体験学習ができるのではないかと、いうことで始まったのが、本学とエコポリスセンターとのつながりです。

Q エコ工作教室の具体的な内容について、教えてください。

板橋区民の小学校低学年の児童に向けて、夏休みにエコ工作教室というのを開いていきます。



ミニえほんを作る

エコ工作教室では、本学科の学生が、不要になった材料を使って、子どもたちに工作を教えるという内容になっています。例えば不要になった牛乳パックを使って、ミニえほんを作ったり、トイレットペーパーの芯を使って万華鏡を作ったりしています。

Q エコ工作教室を通した「フィールドワーク」の目的は、どこにあるのでしょうか？

3R (Reduce Reuse Recycle) を通じて、持続可能な社会をつくって行きましよう、ということ子どもたちに教えることが目的です。子どもたちに教えるには、教える側である学生も、教える内容をしっかりと理解していないとできません。「フィールドワーク」での学習を通して、学生自身の理解も深まり、他者に教えることができるようになると思います。

Q 板橋区民の子どもたちの反応はいかがですか？

エコ工作教室の後に、子どもたちと、付き添いで来た親御さんにアンケートを記入してもらったのですが、アンケートの中でも、非常に子どもが喜んでいて、指導してくれたお姉さんたちが子ども目線に立って教えてくれて、また次回も参加したい、という声が多いですね。そういったアンケートコメントを後で学生に見せると、「やったよかった」と、充実感があるようです。

Q 区民の子どもたちの3Rに対する理解度はどの程度ですか？

エコ工作教室に入る前に、学生たちがスライドを使用して、3Rに関する勉強会を子どもたちに対して行います。子どもたちのエコに対する意識は高く、例えば「3Rって何ですか？」と聞いても、ちゃんと答えることができるんです。最近の子

どもたちを見ると、小学生の頃から、そういった環境に関する知識というのはきちんと教えられているのだなと感じますね。



3Rに関する勉強会

Q 「フィールドワーク」の中で、学生が難しいと感じている点はどこだと思われませんか？

子どもたちとの接し方だと思います。環境教育学科の学生は、児童学科や児童教育学科のように、将来子どもと接するようになるので、初めは子どもと接するのが苦手だと感じる学生もいるようです。

Q 「フィールドワーク」の授業を構成するうえで、先生が思うことはありますか？

やはり、人に教えるためには自分たちがちゃんと理解していないとダメだということですね。人に対して教えるということは、自分がそのことを良く知るためにも必要なことであると思います。



エコ工作教室

在学生アンケート

日常のサステナブルな行動について聞いてみました！

日ごろから個人的に行っているサステナブルな行動、そして今後行いたいと考えているサステナブルな行動、またサステナブルな行動をすることによって、自分自身やまわりにもどのような変化があったかについて、在学生にアンケートを行いました。

Q あなたが日ごろから取り組んでいるサステナブルな行動とは何ですか？

- ・エコバックやマイボトル、マイストローを持ち歩く
- ・コンビニで昼食を買わず、弁当を持参する
- ・ファストファッションをやめ、長く着られる洋服を買う
- ・節電、冷暖房を過度に使用しない（設定温度を保つ）



ほとんどの学生が、エコバックやマイボトル、マイストローを持ち歩いており、冷暖房の使用を控えて節電していると回答していました。また、「マイクログラスチックの排出を抑える洗濯ネットを使用している」「SDGsに関する情報を定期的に確認する」などの回答もあり、日ごろから意識してサステナブルな行動をしていることがうかがえます。

Q あなたがこれから取り組むたいと考えているサステナブルな行動とは何ですか？

- ・電気自動車を買いたい
- ・服を長く使う
- ・コンタクトレンズケースのリサイクルをする
- ・生ごみをコンポストする
- ・食品を計画的に消費する（フードロス削減）
- ・量り売りの店を利用する

そのほかに、「普段の食生活に昆虫食や代替肉等のサステナブルフードを取り入れる」「本当に欲しいものか、本当に必要なものかを見極めて買い物をする」などの回答もありました。

Q サステナブルな行動をすることにより、自分また周囲にどのような変化がありましたか？

- ・少しの工夫で使い捨てのものが必要なくなると感じ、少しずつ自分の行動を変えていこうと思うきっかけとなった。
- ・環境を考えてつくられたものを購入するようになった。
- ・ファストファッションブランドで洋服をたくさん買うより、長く着られるような洋服を1着だけ買うようになった。
- ・本当に必要なものなのかを考えて買い物することで、ごみが減らせるようになった。
- ・加工品を購入するのをやめて、自分で保存食を作る習慣ができた。

- ・エシカルかどうか、行動の基準になった。
- ・いつでもどこでも、サステナブルな行動でできることはないかを考えるようになった。

そのほか、実際に行動を起こすことによって、「SDGsに関連する本を読むようになった」「環境に対して改めて危機感が芽生えた」「SDGsに関心を持ち、全ての人のためにより良い環境とは何かについて考えるようになった」など、自分自身の意識に変化が生じたとの回答が大多数を占めました。また「家族も参加するようになった」「周りやSDGsについて話をするようになった」「友達も自分を見てエコバックを持ち歩くようになった」など、周りがサステナブルな行動に賛同してくれるようになったとの回答もありました。他方で、「今まで意識せずにサステナブルな行動をしてきたため、特段の変化はない」という回答も一定数あり、今やサステナブルな行動は、日常で当たり前のものになっていくようになっていくようです。



令和3年度 東京家政大学 学術研究賞 受賞

偶然から始まった睡眠研究

今ではハッピー人生の立役者「睡眠」にドハマリ

Profile

おか じま いさ
岡島 義

(心理カウンセリング学科 准教授)

東京家政大学臨床相談センター 所長)

2003年日本大学文理学部心理学科を卒業。2008年北海道医療大学大学院心理科学研究科博士課程を修了、博士（臨床心理学）取得。睡眠総合ケアクリニック代々木主任心理士、早稲田大学人間科学学術院助教を経て、2018年より現職。著書に『4週間でぐっすり眠れる本』『1時間多く眠る睡眠負債解消法』（両書ともにさくら舎）などがある。



睡眠行動科学としての取り組み

不眠症を中心とした睡眠障害の改善に関する調査研究及び実践研究を多く発表し、令和3年度東京家政大学学術研究賞を受賞した、人文学部心理カウンセリング学科岡島義准教授の研究をご紹介します。

東京家政大学学術研究賞とは？

本学における研究、作品制作、または表業績が極めて顕著であると認められた、本学専任教員を対象に表彰する、教員研究業績表彰制度のうちの一つ。中でも学術研究賞は、学術研究の成果が特に優れていると認められた、本学の助教以上の専任教員（特任、期限付きを含む）を対象とするもの。

研究テーマ

「睡眠」との出会い、偶然
「二つ返事で飛び込んだ世界に魅了され

「計画的偶発性」という言葉がありますが、その意味はキャリアの8割は予想しない偶発的なことで決まるため、その偶然をチャンスに変えキャリアを築いていこうという考え方です。わたしの場合も多分に漏れず「睡眠」との出会いはまさに偶然でした。大学院時代は全く別の研究をしていたのですが、当時の指導教官から「睡眠に興味があるか？実は就職の話があつてね…」と言われ、二つ返事で飛び込んだのが「睡眠研究」の始まりです。そして次第に「睡眠」の奥深い世界に圧倒され、魅了され、生涯の研究テーマにしようと思えました。

研究内容

睡眠を臨床心理学からアプローチ
不眠症改善のほか、抑うつ症状の軽減も

睡眠障害と言つと不眠症を思い浮かべる方が多いと思いますが、実はその種類は80以上もあります。その中には心理学的な問題が関与しているケースもあり、臨床心理学から睡眠障害を持つ方々の症状改善や生活向上に取り組んでいます。睡眠を臨床心理学からアプローチしている点が特色で、わたしの研究室は「睡眠行動科学研究室」と命名されています。

研究では世界的に効果が明らかになっている「認知行動療法」と呼ばれる手法を用いています。認知行動療法では、ある出来



事が起きたときに、その人がどのよう考へ、振る舞い、感情を出し、身体が反応するかという一連のプロセスを、過去の経験から誰もが持っている「くせ（習慣）」による動きと捉えます。これを応用し、睡眠障害に影響を与えているかもしれない「くせ」を変えることで睡眠改善に繋がるのではないかとこの視点で研究を進めています。

そして、この「くせ」を変えるサポートをするために最近取り組んでいるのが、メール配信型プログラムです。睡眠問題で悩みを抱える方々に、睡眠改善のためのプログラムを週に一度メールで配信します。プログラムには、リラクゼーション法、心配ごとへの対処法、適切な就床・起床時刻の設定などが含まれます。参加者はその内容を1週間実践し、同時に睡眠記録も取っていきます。効果を実感しながら、参加者がこのプログラムを継続できる仕組みです。実際にこのプログラムを8週間に渡って実践した人は、不眠症状が改善しただけでなく、抑うつ症状やストレス症状も軽減したという結果が生まれました。

睡眠改善を通じて、より多くの人がよりハッピーな人生を送れるように、その手伝いをしていきたい、これが研究に対するわたしの想いです。そのためには「ちゃんと

効くモノをちゃんと効く人へ」届けなければならぬ、その使命感を胸に日々の研究に励んでいます。

**研究の奥深さ
ハッピーな人生の立役者である
睡眠の研究は全部が面白い！**

睡眠研究の面白さの原点は、自分が寝ていたかどうかは目が覚めたときにしか判断できない点にあります。睡眠状態を適切にとらえるためには、その人自身による自己評価では難しく、脳波測定など客観的な評価が必要です。一方で、自己評価と客観的な評価にはズレが生じることがあります。一般的には、不眠症の人は「よく眠れなかった」と自分の睡眠を過小評価する傾向にあります。反対に睡眠不足の人や睡眠時無呼吸症候群の人は「自分はきちんと眠れている」と睡眠を過大評価します。さらに、客観的な評価からきちんと眠れていると判定されても、本人の睡眠満足度は高くないこともあります。このような評価のズレが睡眠研究の難しさでもあります。

さらに、その人に合わせた睡眠改善のためのアプローチを考へることが最も重要なことは周知のことですが、その効果測定は非常に難度が高くなります。



メール配信型プログラムに関する研究論文



すとはいきません。ですが、高い壁だからこそ挑戦しがいがありますし、睡眠の研究はとにかく面白い！全部が面白い！ので

睡眠研究が扱う分野は、ムシや動物を対象にした基礎研究から応用研究まで幅広く存在します。最近では、冬眠（正確には休眠）を司る脳内物質が発見され、冬眠しないはずのマウスを冬眠（休眠）状態にできることが分かりました。他にも、睡眠負債が溜まると痛みを強く感じやすくなることや、不眠症が改善するとうつ病も良くなることが報告されています。つまり、ハッピーな人生を送るための立役者が「睡眠」であるという事実！もうワクワクが止まりません（笑）

**研究モットー
論文が多くの人の目にとまれば
次のアイデアやひらめきに**

研究やアイデアやひらめきは、自分の中に大事にしまっておく物ではなく、成果を論文という形にして外の世界に発表することが何よりも大切だと考えています。形にして発表すれば、多くの人の目にとまり、それが次のアイデアやひらめきの材料となります。それらが繋がって次の新しい発見が生まれて、世界中の人々をハッピーにすることができると信じています。

岡島先生に聞いてみました

- あんこ : **粒あん派** こしあん派
- フライドポテト : **細い派** 太い派
- 定番朝ごはん : ごはん、みそ汁、納豆、卵焼き、焼き魚
- 座右の銘 : 楽しいことも、辛いことも、すべての経験がその人の魅力となる。

**寝苦しい夏の夜…
快適な睡眠をとるコツは「余熱」にあった**

夏場は就寝時にエアコンをつけタイマーをセットして眠る人が多いと思いますが、タイマーが切れたらとたんに寝苦しくなりますよね。これは日中にたまった部屋の「余熱」が原因です。寝る2時間ほど前からエアコンと扇風機を使って、寝室の余熱を取り除きましよう。また、最近の研究では物理的に「頭を冷やすこと」も快適な睡眠に効果的であることが示されています。水枕や水枕を使って後頭部を冷やすと寝つきやすくなります。



板橋キャンパス16号館2階

開室時間：平日 9時から17時

土曜日 9時から12時

問合せ：03-3961-1861

Make a Difference Program

2021年度は2月14日～2月25日に英語集中コースとGlobal Challenge（異文化理解）コースの2つのコースでオンライン研修を実施し、6名が参加しました。3回目となる今年度は夏期研修として実施します。

体験記

マッセイ大学 Global Challenge コース

英語コミュニケーション学科 3年 F.A. さん

この研修への参加は「せっかく英語を学んでいるなら実際に使ってみる経験を」とグローバル教育センターの職員の方の勧めで決めました。最初はSDGsを英語で学ぶなんて難しいのではないかと不安でしたが、勇気を出して参加して本当に良かったと思います。この研修を通して、語彙や文法、SDGsの知識はもちろん増えましたが、英会話のコツをつかめたことが一番の学びだったと思います。研修前は言いたいことを英語でどう伝えていいかわからない時に言葉が詰まってしまうことが多くありました。しかし、研修を通し自分が使える単語を使って話すことや会話中に理解できなかった時に、情報を引き出すテクニックがつかめてきました。そして、今後なにをどのように学んでいけばいいのかがより鮮明にわかってきました。この研修で得た気づきを今後の英語学習に生かしていきたいです。



体験記

ワイカト大学 英語集中コース

児童教育学科 3年 M.M. さん

今回の研修に参加して気づいたことは、まず発信することの大切さです。研修の初日に、担任の先生が「声を出して理解を示しなさい」というお話をしてくださいました。また、授業の様子から、自分から手を挙げて話そうとしないと英語を使う機会は格段に少なくなるということを感じました。このような授業の環境や雰囲気から、積極性が求められるということが分かりました。私は研修前に1日3個以上学んだことを振り返るという目標を掲げました。そうすることで、新しい英語表現や語彙を確実に身につけることができました。何かしらの目標をもつことで、研修を受ける意味を見失わずに済むと考えます。今回の研修で学んだ発信力や目標を持つことの大切さを生かして、今年度の春に予定されている留学に向けてこれからも英語学習に力を入れていきたいです。

ポータル等で随時お知らせしますので、楽しみにしてください！

◆11月下旬 国際料理教室

本学留学生に母国の料理を紹介してもらい、一緒に調理・試食をするイベントです。

◆12月中旬 イヤーエンドパーティー

本学留学生・教職員・学生が参加してプレゼント交換やゲームをして楽しめます。

◆2月初旬 海外を経験した卒業生と交流しよう！ウィーク

留学や就労など海外での経験を持つ卒業生は卒業後どのようなキャリアに進んでいるのかを聞いてみましょう！

◆2月～3月 海外研修再開（予定）

今後の状況によりませんが、徐々に海外研修を再開していく予定です。

東京家政大学グローバル教育センター 春期研修（オンライン）レポート

オーストラリア・ウェスタンシドニー大学 栄養&英語研修

新型コロナウイルス感染症拡大のため2019年度から中止となっていたオーストラリア・ウェスタンシドニー大学栄養&英語研修ですが、渡航ができなくても、ウェスタンシドニー大学の先生や学生と一緒に学びたい！という声を受け、2021年度は2月14日～3月4日の3週間、オンラインで研修を実施し、16名の学生が参加しました。

体験記

栄養学科栄養学専攻 2年 K.A. さん

私がウェスタンシドニー大学栄養&英語研修に興味を持った理由は、大学で留学を経験したいと思っていたことに加え、オンラインなら経費も少し抑えられるし、気軽に参加できると思ったからです。また、栄養学科の学生として、他国の栄養について学べるということにも惹かれました。

実際に申し込み、参加できると決まった時や、オリエンテーションが行われている間、直後はワクワクでいっぱいでした。しかし、段々とオンライン留学の日が近づいてくると不安が大きくなっていき、私なんか全部英語の授業を受けられるのだろうか、とっていました。英語の学部には所属しているわけではないし、英語が自分の強みであると言えるほど得意ではなかったからです。しかし始めてみると、片言でも、英語でコミュニケーションを取ることが楽しくて、「留学」の時間が楽しみになっていました。これは、先生方が、私の言おうとしていることを理解しようとしてくれたり、伝えられなくても励ましてくれたりし

てくれたことが大きかったと思います。

EAP (English for Academic Purpose、英語コース) クラスで取り扱った内容は初歩的なものでしたが、説明が英語になるだけで一気に難しく感じました。言語の違いはとて大きなものだと思います。また、EAP1 クラス (易しいレベル) だったということもあり、あまり他の国の方と交流できなかったのも、自分の英語のスキルがもう少し高かったら、異国の文化にもっと触れることが出来たのかなと思いました。

栄養研修では、自主的に発言する方がたくさんいて、刺激を受けました。ディスカッションの内容が難しいこともあったけれど、この研修に参加していなかったら英語で考えることがなかった内容だったので、とても貴重な経験になりました。

現地に行くことは出来ませんでしたが、自分が思っていたよりもたくさんの収穫があった3週間でした。この経験を大事にして、これからの英語や栄養の勉強に活かしていきたいです。そして何より、渡航をして現地の雰囲気味わいに行ける日が来ることを願っています。



今後のイベント情報（予定）

詳細はmanaba や

◆8月2日～4日 TKU SDGs セミナーシリーズ

毎回、選択されたSDGsターゲットをテーマにして、ゲストや本学の大学生や附属高校の仲間と共に学び、考えていく3日間のセミナーです。

◆9月5日～8日 Summer Pops!

外国の文化（映画、音楽、アートなど）について英語で学ぶ、集中講座です。

◆10月下旬 インターナショナルカフェ

本学留学生の国の文化について教えてもらいながら交流するイベントです。



附属女子中学校・高等学校 家政ビオトープ

自然と触れ合い、環境について学べる豊かな空間

むさしのの木立もふかく…と校歌に歌われるほど緑豊かな家政のキャンパス。約2000本の樹木、200種類以上の野草が繁茂し、恵まれた環境が、野鳥や昆虫、その他多くの小動物の集う場となっています。そのキャンパスの中心にあるのが「家政ビオトープ」です。

「家政ビオトープ」の歴史

「家政ビオトープ」は2000年、新校舎の建設にともなってつくられました。資材置き場だった広さ500㎡程の中庭を「家政ビオトープ」と名づけ、当時の校長、事務長、教職員有志が整備を始めました。池や観察路などが整備されていく中、参加者も増え、2007年に「園芸ビオトープ同好会」が発足。この頃には、環境整備や観察・調査だけでなく、観察会の開催や外部の発表会やコンクールへの参加など、活動の幅が大きく広がりました。そして、2011年には「ビオトープ委員会」が発足し、同好会の活動を引き継ぐ形で現在に至ります。隔年開催の「全国学校・園庭ビオトープコンクール」では、これまでに日本生態系協会賞を4度受賞。女子校の受賞は全国でも本校だけで、その活動は高く評価されてきました。

「家政ビオトープ」の現在

コロナ禍の2年間、活動制限もあり、環境整備や観察・調査などが十分にできず、コンクールへの参加も断念しましたが、この3月には、ビオトープ委員会のライフワークであるアズマヒキガエルの調査を行うことができました。この調査では、毎年2月下旬から3月にかけて産卵のためにビオトープ池に入る多数のカップルを一時捕獲し、体重や体長などを測定するものです。その際、お腹の模様を確認するために写真を撮影します。今年は50



匹以上のカエルを捕獲しましたが、撮影した38枚の写真を過去のものとは比べてみたところ、なんと4匹のお腹の模様が一致しました。

生き物は苦手という方もいらっしゃるかもしれませんが、「家政ビオトープ」では、一年を通じて様々な草花が目を楽しませてくれます。春から夏にかけての時期は、春先に白い可憐な花を咲かせる板橋区の花であるニリンソウ、初夏に池一杯に広がる睡蓮、観察路の入り口を彩るホタルブクロなどが見られます。ぜひ一度「家政ビオトープ」へいらしてください。

高校 球技大会 4/28(木) 於グラウンド

4月28日(木)に高校球技大会をグラウンドで実施しました。例年は1時限から6時限まで3学年が同時に、バスケットボール、バレーボール、ドッチボールの3種目を体育館とグラウンドを使って行っていました。しかし今年度はコロナ禍のため、1・2時限が高校2年生、3・4時限が高校3年生、5・6時限が高校1年生と学年ごとにグラウンドでの実施としました。また、種目もドッチボール1種目に絞り、短時間でできるようにしました。

グラウンドには3面のドッチボールコートをつくり、クラス対抗で予選リーグ、決勝トーナメントを行いました。試合前にクラスごとに円陣を組んで士気を高めるなど、各クラス大変盛り上がり、クラスの団結も深まりました。また、高校3年生は優勝クラスが大澤校長先生も参加の教員チームとの対戦を行いました。対戦をしたクラスと応援をしている生徒が一体となり、大変盛り上がりしました。

さらに、閉会式では生徒会本部会生、体育委員、ソフトボール部、ソフトテニス部が会場準備、当日の運営、審判をしてくれたことに対して、他の全生徒から感謝の意を込めて拍手が起きました。心地よい穏やかな天気の中、元気いっぱいドッチボールを楽しむことができ、生徒たちの心も育った1日となりました。



中学校 5月の生活

1年生 千葉校外学習

5月18日・19日、千葉県にて校外学習「5月の生活」を実施しました。

1日目は、マザー牧場デイキャンプ場にて飯盒炊爨、カレーライス作りです。薪で火をおこし、飯盒を使ってご飯を炊くなど、すべてが初めての経験でしたが班のメンバーで協力しながら、美味しいカレーライスが完成しました。午後には校祖渡邊辰五郎先生の所縁の地である長南町へ移動し、史跡の見学へ。辰五郎先生の教え子が建立した碑がある長福寿寺や、辰五郎先生が教員をしていた旧長南学校跡と生家跡をめぐるしました。

2日目は、大山千枚田で田植え体験です。普段食べているお米がどのようにして作られているのか、その一端を知ることができました。田植えの大変さを体験し、農家の方々への感謝や毎日食べているお米や食べ物の大切さをより実感しました。また、地域の方に教えていただきながら、藍染めやわら細工体験も行いました。

たくさんの体験活動を通して、自然への感謝、もの作りの大変さと楽しさ、仲間と協力する大切さなど、多くの気づきと学びを得ることができました。



2年生 鎌倉探訪

「ネットよりも自分で見て、話を聞いて、理解できたことや分かったことがたくさんありました」「1日目の鎌倉は道がわからなくなったり、バスの時間が間違っていたりして少し大変でした。ですが、町の人に聞くと優しく教えてくださってとてもうれしかったです」

これは中2学年が5月におこなった鎌倉・三浦半島1泊2日の宿泊行事を通しての、生徒の感想の一部です。こうした生徒の振り返りの言葉一つ一つを見ると、成功したことも少し反省が残ったこともひっくるめて、皆で宿泊を伴う校外行事ができて本当に良かったと感じます。小6からコロナ禍を経験してきた子どもたちは、マナーや体調管理に気を配りながら、自分たちなりに懸命に、楽しんで過ごしていました。ご家庭では、まずは元気に出発ができるようにと気を揉まれたことでしょう。多くの方に支えられ、中2学年初めての宿泊行事「5月の生活」は実りある2日間になりました。



中学校 マナー講座

挨拶や心遣いなどの大切さを学ぶことで、学校生活・社会生活を円滑に送れるようにするために中学では毎年マナー講座を実施しています。また、本学園の教育理念である「愛情・勤勉・聡明」のうち「愛情・聡明」を育てることに役立っています。

下記の表のように、年2回で合計6回の講座を実施しています。

中学1年生	第1回(4月) ①日常生活のエチケット ②マナーの基本 ③挨拶から広がる新しい世界 ④表情訓練	第2回(9月) ①言葉遣い ②学校の代表としての第一印象向上 ③基本動作
中学2年生	第1回(4月) ①マナーとエチケット ②身だしなみチェックリスト ③電話用語	第2回(9月) ①言葉遣い ②敬語 ③言葉遣いトレーニング
中学3年生	第1回(4月) ①マナーの基本再確認 ②後輩の見本となる身だしなみ	第2回(9月) ①身だしなみ 態度 ②修学旅行で気を付けたいマナーとエチケット ③マナーの基本最終確認



今年は第1回目を4月11日(月)に受講しました。

第2回は9月6日(火)中学1年生・2年生、9月13日(火)に中学3年生が受講予定です。

東京家政大学・東京家政大学短期大学部

申込制

オープンキャンパス

東京家政大学について

「もっと知りたい」という方は、是非オープンキャンパスにご参加ください。

2022

開催内容

- 大学概要・入試説明
- 個別相談
- キャンパスツアー
- 学科&入試説明
- 模擬授業
- 受験対策講座
- など

板橋キャンパス

(児童学部・栄養学部・家政学部・人文学部・短大)

7/10 (日) 8/7 (日)

10/2 (日) 12/4 (日)

狭山キャンパス

(健康科学部・子ども支援学部)

7/24 (日)

8/21 (日) 10/1 (土)

渡邊辰五郎 (自主自律) AO 入試説明会

8/20 (土)

※板橋キャンパスにて実施。
全学部 (造形表現学科を除く)・短期大学部対象

造形表現学科では、独自 (別日程) でも
オープンキャンパスを実施 (板橋キャンパス)

9/4 (日) 11/6 (日) 12/17 (土)

※日程は変更・中止の可能性があります。
※日程により開催内容の変更、参加者の制限を行う場合があります。
※学科により開催時間が異なる場合があります。詳細は必ずホームページをご確認ください。

造形表現学科を目指す人へ

造形表現学科 基礎講座 「1・2年生向け美術入門」

●美術の経験が少ない方、初めての方、美術を楽しんでみたい方、挑戦してみたい方のための講座です

造形表現学科 実技講座 「受験生のための造形学校」

- 造形表現学科を自己推薦型AO入試や一般選抜の実技試験 (デッサン) でチャレンジしてみようと思っている方に実技指導を行います
- 自己推薦型AO入試を受ける場合は「受験生のための造形学校」を必ず受講してください

※詳細は東京家政大学ホームページから造形表現学科のページをご確認ください

東京家政大学の授業を受けてみよう

申込制

体験入学

(2023年3月実施予定)

- 板橋・狭山キャンパスで実施予定です
- 大学の授業を体験! 60分授業を2時限受講できます
- 大学13学科と短大2科から関心のある学科を選んでください

※詳細はホームページで発表します。

★2023年4月開設予定

☆2023年4月、子ども学部を子ども支援学部へ名称変更予定

申し込み方法



東京家政大学ホームページより
お申込みください。

<https://www.tokyo-kasei.ac.jp>

2023 AO入試情報

※出願の際はホームページより必ず入学試験要項をご確認ください。

東京家政大学・東京家政大学短期大学部ではさまざま入試方法を導入しています。

渡邊辰五郎（自主自律）AO入試

内容

渡邊辰五郎(自主自律)AO入試とは、高等学校校長の推薦による学校推薦型選抜やペーパーテストの点数による一般選抜とは違い、受験者と本学との相性を確認するAO型入試です。「東京家政大学の建学の精神や校風をどのくらい理解しているのか」、「志望する学科・科・専攻でどんなことを学び、学んだことを将来どう生かしていきたいか」など、受験者の夢ややる気を発掘し、これからにつなげます。

実施学科・科

大学:全学科(造形表現学科を除く) 短大:全科

エントリー資格

- ①日本の高等学校もしくは中等教育学校を2023年3月卒業見込みの女子
- ②本学の建学の精神「自主自律」の理念を理解・賛同し、リーダーシップが発揮できる者
- ③本学及び志望学科・科・専攻を第一志望(専願)とする者
- ④高等学校3年1学期までの全体の学修成績の状況が下記の各学科・科の基準を満たしている者(2期制の学校については、出願段階での学習成績とする)

※栄養学科、管理栄養学科、看護学科は3.5以上。他の学科・科は3.0以上。

1 学科説明・模擬授業受講

下記日程のオープンキャンパスまたは渡邊辰五郎(自主自律)AO入試説明会に参加

●オープンキャンパス

板橋 児童★・栄養・家政・人文・短期大学部

日程:7/10(日)、8/7(日)

狭山 健康科学・子ども支援★

日程:7/24(日)、8/21(日)

●渡邊辰五郎(自主自律)AO入試説明会

日程:8/20(土)

日程や内容等詳細は変更の可能性があります。必ずホームページで詳細をご確認ください。

2 1次審査エントリー

大学 9/1(木)～9/10(土) 郵送必着

短大 9/1(木)～9/22(木) 郵送必着

3 大学1次審査

日時:9/25(日)

場所:板橋キャンパス

内容:①文章による自己表現

②プレースメントテスト

(国数英の基礎学力を問う問題)

※管理栄養学科、心理カウンセリング学科以外は選抜の評価には使わず、入学前準備教育のコース分けに使用します。

4 大学1次結果通知

郵送通知 **9/30(金)**

5 大学2次審査・短大1次審査

大学2次審査は1次審査合格者のみ学科別を実施します

日時:10/9(日)

場所:板橋キャンパス(児童★、栄養、家政、人文、短期大学部)

狭山キャンパス(健康科学、子ども支援★)

内容:[大学]学科ごとの課題 [短期大学部]面接

6 結果通知

郵送通知 **10/13(木)**

7 出願

●この段階で検定料を納入

●出願書類を郵送

出願期間 **10/14(金)～10/19(水)**

8 合否発表

Web発表 **11/1(火)**

9 入学手続締切

入学手続締切 **11/8(火)**

★2023年4月開設予定

☆2023年4月、子ども学部を子ども支援学部へ名称変更予定

お問い合わせ

東京家政大学 アドミッションセンター

TEL:03-3961-5228(直通)

nyushi@tokyo-kasei.ac.jp



栄養学科

栄養士実力認定試験 成績優良者表彰



成績優良者 5名と小西 栄養学部長・澤田 実力試験委員長

第18回（令和3年度）栄養士実力認定試験（一般社団法人全国栄養士養成施設協会主催）が令和3年12月12日（日）に行われました。（全国で栄養士養成校178校、参加者9,091名が受験）

この試験では、試験結果上位10位までの者を成績優秀者、11位から100位までの者を成績優良者として表彰状と記念品が主催者から授与されます。

本学では栄養学科3年生295名と栄養科2年生75名が受験し、管理栄養士専攻の大宮捺希さん、塩田彩奈さん、橋本理沙さん、横田優衣さん、野邊花南さんの5名が成績優良者として表彰されました。

3回目の大学拠点接種（職域接種）実施



ワクチン接種の様子



接種会場受付

皆様の健康と安全に少しでも貢献したいとの思いから、板橋キャンパスにおいて3回目の大学拠点接種（職域接種）が実施されました。本学の学生・教職員・その家族・委託業者の他、本学卒業生等への接種も実施しました。（※ワクチン接種はあくまでも任意であり、接種をしないことで不利な扱いを受けることはありません。）

接種した学生からは「3回目も大学で実施されてよかった」「授業が始まったので接種出来て安心している」等の声がありました。

今後もキャンパス内の感染対策を徹底し、学生・生徒の皆さんが安心してキャンパスで過ごすことができるよう努めてまいります。

最後に、最前線で対応にあたられている医療従事者の皆様に心からの敬意を表すとともに、感謝申し上げます。

実施概要

令和4年
5月16日（月）～5月20日（金）

場所 板橋キャンパス
16号館ルーチェ（食堂）

ワクチン 武田／モデルナ社製
ワクチン

約400名分を用意

＜お問い合わせ先＞ 総務部総務課 soumubu@tokyo-kasei.ac.jp

令和3年度 渡邊辰五郎賞贈賞式・記念講演会

令和4年5月17日（火） 令和3年度 渡邊辰五郎賞贈賞式・記念講演会が執り行われました。



「渡邊辰五郎奨励賞」

受賞者

長谷川 純代氏

株式会社グラフィコ代表取締役社長CEO

1988年卒 東京家政大学短期大学部 服飾美術科 美術コース 卒業

受賞理由

本学卒業後、ゼロ基盤からのスタートで起業し、日用品・化粧品・健康食品の分野でヒット商品と言われる“ミリオンセラー”を多数プロデュースした。また、「FEEL PEACE」プロジェクトなど社会貢献を大事にし

た事業も展開し、2020年東証ジャスダックへの上場を果たした。全国の女性社長数は増加傾向にあるが、上場企業の女性社長比率が僅か1.0%という中での快挙である。本学は女性の活躍を推進しており、学生にとって大きな励みとなり得る。



講演会の様子



株グラフィコの商品

【渡邊辰五郎賞 設置の趣旨】

渡辺学園の創立者である渡邊辰五郎の偉業を讃え、後世に伝えるため、創立130周年を記念して渡邊辰五郎賞を創設。「渡邊辰五郎賞」は、本学の建学の精神である「自主自律」に相応しく、社会での長年の活躍が評価され、貴重な貢献をした卒業生を称えるもの。また、「渡邊辰五郎奨励賞」は社会での活躍が著しく、今後の活躍が期待され、本学の栄誉を担う卒業生を称えるもの。

告知

今年も緑苑祭が開催されます!

板橋・狭山キャンパスの緑苑祭テーマが決定しました。その他の詳細は次号でお知らせする予定です。緑苑祭実行委員会の活動の様子は、Twitter、Instagramでもチェックすることが出来ます。

第62回板橋緑苑祭

令和4年 10月22日(土)・23日(日) テーマ『再出発ー新しい旅へー』

実行委員

Twitter: https://twitter.com/ryokusai_j

Instagram: [instagram.com/ryokusai_j](https://www.instagram.com/ryokusai_j)

第9回狭山緑苑祭

令和4年 10月23日(日) テーマ『自由奔放～心のままに全力で!～』

実行委員

Twitter: https://twitter.com/s_ryokusai

Instagram: [Instagram.com/s_ryokuensai9](https://www.instagram.com/s_ryokuensai9)



緑苑祭（板橋）キャラクター「りょっくん」も雨にも負けず準備中!

東京家政大学博物館 デジタルコンテンツの公開

博物館ではコロナ禍において、企画展・常設展の公開を学内限定としてきましたが、学外の皆様にもお楽しみいただけるよう「デジタルアーカイブの作成と発信」に力を入れてきました。

博物館HPの「デジタルコンテンツ」内で、これまでの成果を公開しています。収蔵品紹介や展示解説動画の他に、令和3年度特別企画展「裁縫雛形と自主自律の教え」を360°カメラで撮影した「バーチャル展示室」も体験できます。

デジタルコンテンツをご活用いただき、実際に来館するのとはまた違った楽しみ方を見つけてください。公式Instagramでは博物館の展示やイベント情報はもちろん、きせつにあわせた収蔵品紹介や学芸員のひとりごとなど、博物館の「今」を発信します。

モノの背景にある歴史やエピソードを知ると、今がもっと面白くなる。博物館がみなさんの新たな発見や新鮮な驚きの場になるよう、さまざまな情報を発信していきます。



デジタルコンテンツ



Instagram



たとえば「収蔵品データベース」なら



当館の4大コレクションのひとつ「裁縫雛形（さいほうひながた）」の写真画像と解説がご覧いただけます。



もっと裁縫雛形を知りたくなったら、上記のコンテンツもご覧ください。

常設展の一般公開を再開しました。デジタルコンテンツを通して博物館に興味があれば、ぜひ実際に足を運んで「本物」の魅力に触れてください。（現在、企画展の開催は休止しています）最新の情報は当館 HP で必ずご確認ください。
<https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/museum/>

【常設展案内】

常設展①：学園の歴史と創設者
 本学の歴史とともに裁縫雛形もご覧いただけます。

常設展②：コレクション展示
「新収蔵資料紹介 谷中リボン」
 日本初のリボン工場跡地（東京・谷中）から発見されたリボンの見本帳や書籍を中心に紹介します。



外国製のリボン

☆記事掲載希望の方へ

「Tokyo Kasei Press 広報誌なでしこ」へ各種募集・告知・報告等の記事を掲載希望の方は、学園運営室まで原稿等をお寄せください。次号は2022年10月発行の予定です。よろしくお願いたします。

<お問い合わせ先> 学園運営室（担当：涌井） メール：wakui-s@tokyo-kasei.ac.jp

Tokyo Kasei Press Vol.93

学校法人渡辺学園 広報誌なでしこ

2022年7月発行

Tokyo Kasei Press 広報誌なでしこ

創設時の校章に「愛を意味し、母性愛と教育愛を象徴している」撫子（なでしこ）の花がかたどられています。“平成”から“令和”になった2019年に広報誌ヘリニューアルし、『なでしこ』の通称名を付けました。これからの時代を“しなやかに凛と生きる”女性として社会で活躍できるよう、願いを込めて多くの情報を発信していきます。

新型コロナウイルスの影響により、本誌掲載の行事等の開催が変更・中止になる場合があります。お問い合わせは学園運営室（03-3961-5690）までご連絡ください。

学生記者 募集中です！！

学園運営室では学生記者を募集しています。文章を書くことが好きな方、大学生活で新しいことにチャレンジしてみたい方、一緒に広報誌なでしこを作りませんか？授業・サークル活動などに支障がない形で参加可能です。ご興味のある方は、お気軽に学園運営室（03-3961-5690）までお問い合わせください。

■発行人

菅谷 定彦（学校法人渡辺学園 理事長）

■編集責任者

岩井 絹江（学園運営室 室長）

■学園運営室

門脇亜希子、吉村扶見子、川島 直子、涌井 静香
古角花亜菜、坂本 理恵

■編集・発行

学校法人 渡辺学園 学園運営室
〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1
電話：03-3961-5690

■制作・印刷

株式会社弘文社

■表紙デザイン

坂本 理恵

■広報誌なでしこ バックナンバー



2022年も瞬く間に半分が過ぎてしまった。楽しい時間は早く、退屈な時間は遅く過ぎるとはよく言われる話だが、時間の経過に注目する頻度が低ければ早く過ぎるように感じ、それが高ければ遅く過ぎるように感じるということであるらしい。

思い返せば、筆者にとってのこの半年は、時間の経過に注目する暇がないほどの変化、変化の連続であった。しかしながら自分に巻き起こった変化により、年を重ねることに感じる事が少なくなる、「未経験なことを経験することの新鮮さ」を久しぶりに味わうことができた。

キャンパスの新生もそろそろ大学生活に慣れたころ。彼女たちも、きっと時の流れの早さを感じていることだろう。

至らない筆者に対し、さじを投げることなく、支えてくださる周囲のみなさまに心より感謝申し上げるとともに、筆者にとって初めてづくしの本号の制作にご協力いただきましたみなさま、誠にありがとうございました。（S.W）

先日久しぶりに“推し”を観に行った。コロナ前に当選していた公演は日程を二度延期したのち中止となっていたため、約2年半ぶりの推し活だった。

感染対策のため声を出すことは出来ず、感情を拍手またはグズ（振るとシャカシャカ音がする）で表現しなければならなかった。少し寂しいな…という気持ちがあったが、始まってしまえば公演は変わらず楽しく、終演後に拍手をしすぎた掌がじんと痛むのもまあ悪くないかと思えた。

以前のように友人と歓声（という名の悲鳴）を上げられるのはいつになるのだろうか。

93号の発行にあたりご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。（K.K）

対面授業が開始したこの4月、板橋・狭山両キャンパスには学生の元気な声と笑顔が戻ってきた。こんな日が来るのを待っていた教職員は「学生の顔が見えるのはいいですね!!」と誰もが自然と言葉に出ていた。

今年の猛暑は予想外に早く、梅雨に濡れる紫陽花を楽しむ時間がないまま、夏日を迎えた。東京家政大学のキャンパスは、駅から5分の至便な所にあるが、2つのキャンパスは、それぞれ8万㎡という広大な緑地に四季折々の花が咲き、果実が実をつけ、ゆったり心地よく過ごせる自然環境が、学生・生徒の学びを後押ししてくれる。私は梅雨に濡れるキャンパス内の紫陽花の花が好き、同じ紫陽花なのに色合いが異なり、どの花も美しい。キャンパスを闊歩する学生の表情は様々だが、生き生きしてさらに美しい!!!

「紫陽花に雫あつめて朝日かな」 かがのちよじょ 加賀 千代女

P8～9に掲載しているが、6月26日に東京家政大学女性未来研究所主催のシンポジウムが開催され、登壇者は樋口恵子名誉所長、村木厚子津田塾大客員教授。【時代の荒波を乗り越え、昭和・平成へと女性活躍・社会進出を創ってこられたおふたり】その表情は輝き、パワフルなお話から生きるエネルギーをいただいた。

女性の社会進出のスタートは約150年前の明治時代。本学の前身・和洋裁縫伝習所が女性の自主自律を建学の精神に教員養成校として創立されたのが141年前、日本の女性活躍草創期と時を同じ頃の創立というお話があり、創立者渡邊辰五郎先生の“先見の明と偉大さ”を改めて感じた。

本号作成にご協力くださった皆様に感謝申し上げます。（K.I）

次号94号は、2022年10月発行の予定です。
掲載希望の記事がありましたら、学園運営室にご連絡ください。

理事長コラム “世界を生きる”

学校法人 渡辺学園理事長 菅谷 定彦

日経ニューヨーク特派員時代⑫

ニューヨークの日本人(下①)

米医大比で研究費10分の1雑用10倍

1971年(昭和46年)から3年間の日本経済新聞「ニューヨーク特派員時代」は、多くの先輩、友人に恵まれた。特に兵庫県西宮市の甲陽学院中学校1年生以降の「生涯の友」で、大阪大学医学部教授になった多田道彦君が、阪大医学部に女性2番で入学した同窓生、梢夫人と共に同時期にニューヨーク市立大学のマウント・サイナイ医学部で研究活動をしてきたことが、私のニューヨーク生活を一段と楽しくした。

赴任早々の3月中旬、多田君から今シーズ最終段階のメトロポリタンオペラ(MET)でヴェルディの「アイダ」のチケットが2枚取れたので一緒にこの電話が入った。着任早々であいさつ回りや原稿執筆に追われてはいたが、甲陽学院高校時代、硬式テニスで国民体育大会第3位など全国的プレーヤーだった私は音楽愛好家でもあつ



1971年7月タングルウツの民泊で。多田道彦、梢夫妻と。

たので、二つ返事でOK。時差の問題で夕方仕事になる夕刊用記事を急ぎ済ませてホットドッグを2本早食い。42丁目9番街のマグロウヒル本社内のニューヨーク支局から113丁目、セントラルパークに近いウエストサイドのリンカーン・センターにかけた。初めてのMETなので、早めにスタートしたがあいにくの渋滞で、到着したのは3分前。待っていた多田の第一声は「相変わらずギリギリやな」。

甲陽学院高校3年生時代、私が庭球部主将、多田はNo.2兼マネージャーで生徒会長でもあったが、放課後の高校内テニスコートに、私がトイレや着替えに手間取り、いつも一番最後に到着していたことを思い出した。開演直前に中央部のシャンデリアがゆっくりと上昇する中、1階中央部の席に着いたところで開幕。シャンパンを飲みながらの短時間休憩をはさんで3時間余。広大なオペラハウスに響きわたる豊かな音量。本物の象が2頭登場する華やかな舞台に圧倒された。

以降、米州編集総局長として2度目、2年間のニューヨーク勤務を合わせると50回近くはMETに通い続けた。当時は男性ではドミンゴ、パバロツティ、女性ではノーマン、パトルの全盛期。大好きだったオッフェンバツ



1987年日経米州編集総局長時代。来米した多田教授とマンハッタンの菅谷宅にて。

タの「ホフマン物語」は34回も観劇するなど、多田同様オペラファンになった。これにはニューヨークは11月から3月まで寒さや降雪でゴルフが出来なかつたことも、幸いした。

ある夕刻、多田から話があるので食事しようというので日本食レストランで会ったところ、「おい菅谷、ひよっとしたらノーベル医学・生理学賞をとれるかも」と言い出した。続いて多田は、「心筋細胞体の活性を制御する蛋白質、ホスホラパンを自ら発見した」と言うのだ。「中味はよく理解出来ないが頑張れ」と言うに止めたが、そこから多田の悩みが始まった。

「この論文ははじめ自分の業績は全て、主任教授が筆頭で俺は2番手、3番手」。「しかし日本に戻ると研究費は米国の10分の1、雑用は10倍」と言う。私はこれと全く同じことをiPS細胞を作り出してノーベル医学・生理学賞を受賞した山中伸弥京都大学教授から後日聞いた。多田からノーベル賞をねらって米国に居続けてもとれる保証はないし、阪大教授の道は閉ざされる。この話に10回近くはつき合い、インシユリン研究で成果を挙げている梢夫人と良く相談するべきだが、俺なら米国に残る、と言い続けた。

多田の結論は帰国して大阪大学で頑張り続けることだったが、山崎豊子の「白い巨塔」のモデルになった阪大医学部で研究以外に多くのストレスを抱え、教授を20年近く続けた後、神戸市に新設された産学共同の「ゲノム医療情報センター」社長。人望も厚く、平成

12年第17回国際研究学会の日本部会会長など国際会議に年1回は海外出張し、私の米州編集総局長時代もニューヨークで度々会っていたが、平成17年2月食道ガンで67歳の若さで死去した。

私は後、日経専務取締役大阪本社代表時代、大阪大学の医学部長、教授と交流があり、多田の話題になると、「米国に残っておられたら、ノーベル賞の可能性はあったと思う」と口をそろえていたので、私は多田の本当の死因はわが国の不十分な研究費と人間関係のストレスだとも思っている。

多田はオペラと同じレベルでゴルフの愛好家だった。私のニューヨーク着任の7月にさぞわれたボストン交響楽団の夏休み兼演奏会のタングルウツ旅行は梢夫人と3人だったが、ゴルフもやるということで近くのゴルフ場で一戦交えたこともある。腕前は私と近いレベルだったが欠点はプレーが遅いこと。ティーグラウンドに上がって打つまで1分ぐらしかかる。「何を考えているんだ」と聞くと、打つ前に押えるポイントが8か所あるとの返事。「せめて半分にしろ」といったが、悪いクセは最後まで治らなかつた。

私の日経取締役大阪本社編集局長時代、後にノーベル医学・生理学賞を受賞した京都大学の本庶祐教授と3人でプレーしたいとの申し出が多田からあり、「本庶先生のプレーのスピードは」と聞くと、「俺より遅い」というので断つたが、これがゴルフに関する多田道彦との最後の会話になった。

※次号は日経ニューヨーク特派員時代⑬「ニューヨークの日本人(下②)」です。

(訂正) 前号の理事長コラムの写真説明で、大木充元(ソニー)常務とあるのは元ソニー専務。文中菅谷の日経常務取締役名古屋所長とあるのは、日経常務取締役名古屋代表の誤りでした。